



平成 29 年 5 月 18 日
～美ら島の未来を拓く～
沖縄総合事務局

「農業生産工程管理（GAP）に関する講演会」 の開催について

将来、沖縄の農業の担い手となる農業大学校や農林高校等の生徒を対象に、農業生産工程管理（GAP）の重要性などについて講義するとともに、農場へ出てより実践的な工程管理を経験してもらうことで、GAPへの関心を深めていただくこととしています。

このため、既にGAPに取り組んでいる農業生産法人（株）みやぎ農園に依頼し、GAP評価員でもある小田哲也氏から講演をしていただきます。

1. 目的及び内容

（1）目的

農業生産工程管理（GAP）は、農業生産活動における各工程の正確な実施、記録、点検及び評価を持続的に行うことにより、食品の安全性向上、環境の保全、労働安全の確保、農業経営の改善などにつながる取組です。

昨年10月、青森県五所川原農林高校が全国で初めてGLOBALG.A.P.を取得したように、今後の農業を担う若い人材が、早いうちから国際水準のGAPに取り組むことは大変重要であることから、沖縄総合事務局においても、農林高校等に対してGAPの推進のための支援を行っています。

このような中、この度、農業大学校及び農林高校等において、GAPに取り組む農業生産法人の協力の上、GAPの重要性や農場における農業資材の適切な管理方法等についての講演会を開催いたします。

（2）内容

【第1部（座学）】

「GAPと農業経営」

講演：農業生産法人（株）みやぎ農園 小田哲也（GAP評価員）

【第2部（実習）】

「農業資材の適切な管理方法」

指導：農業生産法人（株）みやぎ農園 小田哲也（GAP評価員）

沖縄県農林水産振興センター（農業改良普及センター）

普及指導員

2. 開催日時及び場所

【沖縄県立中部農林高等学校】

日 時：平成 29 年 6 月 2 日（金曜日） 11:20～13:10

場 所：沖縄県立中部農林高等学校

所在地：うるま市田場 1570

【沖縄県立八重山農林高等学校】

日 時：平成 29 年 6 月 9 日（金曜日） 11:10～13:00

場 所：沖縄県立八重山農林高等学校

所在地：石垣市字大川 477-1

【沖縄県立農業大学校】

日 時：平成 29 年 6 月 30 日（金曜日） 13:00～16:10
場 所：沖縄県立農業大学校
所在地：名護市大北 1-15-9

※上記 3 校以外の農林高校等は、日程が確定次第プレスリリースいたします。

3. 参加校

沖縄県立農業大学校
沖縄県立北部農林高等学校、沖縄県立中部農林高等学校
沖縄県立南部農林高等学校、沖縄県立宮古総合実業高等学校
沖縄県立八重山農林高等学校、沖縄県立久米島高等学校

4. 報道関係者の皆様へ

取材、カメラ撮りを希望される場合は、事前に別紙の取材申込書に、社名、氏名、連絡先、TV カメラの有無等を御記入のうえ、以下の日時までに申込先へ FAX にてお申し込み下さい。

- 沖縄県立中部農林高等学校：平成 29 年 5 月 29 日（月）17 時まで
- 沖縄県立八重山農林高等学校：平成 29 年 6 月 2 日（金）17 時まで
- 沖縄県立農業大学校：平成 29 年 6 月 26 日（月）17 時まで

<添付資料>

- (別紙 1) 講演者紹介
- (別紙 2) 今後の開催予定
- (別紙 3) 「農業生産工程管理（GAP）に関する講演会」取材申込書

【お問合せ及び申込先】

【GAPに関する事】

生産振興課 担当：金城、平良
TEL : 098-866-1653
FAX : 098-860-1195

【講演会に関する事】

経営課 担当：下地、中川
TEL : 098-866-1628
FAX : 098-860-1179

【講演者】

○農業生産法人（株）みやぎ農園 代表取締役社長 小田哲也

・平成 22 年 4 月：農業生産法人（株）みやぎ農園へ入社。

毎月、地域の農業者が優良事例や抱えている課題等について意見交換等を行う勉強会を開催。

・平成 27 年 2 月：日本 G A P 規範に基づく農業評価制度の規程による評価員試験に合格（一般社団法人日本生産者 G A P 協会）。

・平成 28 年～：地元学生との連携や観光視察の受け入れの取組。

・平成 29 年 4 月：代表取締役社長に就任。

【農業生産法人（株）みやぎ農園】

○経営状況

代表者	小田哲也（宮城盛彦氏は平成29年4月に会長職へ就任）
住 所	南城市大里字大城2193
設立年	平成20年10月16日
事業内容	生産（鶏卵、野菜）、加工、販売
経営規模	養鶏8,000羽、野菜80アール
従業員数	20人（役員3人、常時雇用9人、パート8人）

～ 今後の開催予定 ～

【沖縄県立北部農林高等学校】

日 時：平成 29 年 9 月下旬
場 所：沖縄県立北部農林高等学校
所在地：名護市字宇茂佐 13

【沖縄県立南部農林高等学校】

日 時：平成 29 年 7 月上旬
場 所：沖縄県立南部農林高等学校
所在地：豊見城市字長堂 182

【沖縄県立宮古総合実業高等学校】

日 時：平成 29 年 7 月上旬
場 所：沖縄県立宮古総合実業高等学校
所在地：宮古島市平良下里 280

【沖縄県立久米島高等学校】

日 時：調整中
場 所：沖縄県立久米島高校
所在地：久米島町字嘉手苅

沖縄総合事務局農林水産部経営課 下地、中川 宛て

電 話：098-866-1628

FAX：098-860-1179

「農業生産工程管理（GAP）に関する講演会」
～中部農林高等学校 6月2日（金）開催～

取材申込書

開催日時：平成29年6月2日（金） 11:20～13:10

開催場所：沖縄県立中部農林高等学校 うるま市田場1570

社名（支局等）	氏名	記者、カメラマンの区分

代表連絡先

(会社電話)

緊急連絡先

(携帯電話)

※取材を希望される場合は、5月29日（月）17時までに、別紙により担当者宛てにFAXでお申し込み下さい。

※取材を希望される報道関係者の方は、当日記者証等の身分証をご提示いただきますので、あらかじめご了承願います。

※上記の個人情報は、「農業生産工程管理（GAP）に関する講演会」の取材者の確認のみに利用し、それ以外のことには利用いたしません。

沖縄総合事務局農林水産部経営課 下地、中川 宛て

電 話：098-866-1628

FAX：098-860-1179

「農業生産工程管理（GAP）に関する講演会」
～八重山農林高等学校 6月9日（金）開催～

取材申込書

開催日時：平成29年6月9日（金）11:10～13:00

開催場所：沖縄県立八重山農林高等学校 石垣市字大川477-1

社名（支局等）	氏名	記者、カメラマンの区分

代表連絡先

(会社電話)

緊急連絡先

(携帯電話)

※取材を希望される場合は、6月2日（金）17時までに、別紙により担当者宛てにFAXでお申し込み下さい。

※取材を希望される報道関係者の方は、当日記者証等の身分証をご提示いただきますので、あらかじめご了承願います。

※上記の個人情報は、「農業生産工程管理（GAP）に関する講演会」の取材者の確認のみに利用し、それ以外のことには利用いたしません。

沖縄総合事務局農林水産部経営課 下地、中川 宛て

電 話：098-866-1628

FAX：098-860-1179

「農業生産工程管理（GAP）に関する講演会」
～農業大学校 6月30日（金）開催～

取材申込書

開催日時：平成29年6月30日（金）13:00～16:10

開催場所：沖縄県立農業大学校 名護市大北1-15-9

社名（支局等）	氏名	記者、カメラマンの区分

代表連絡先

(会社電話)

緊急連絡先

(携帯電話)

※取材を希望される場合は、6月26日（月）17時までに、別紙により担当者宛てにFAXでお申し込み下さい。

※取材を希望される報道関係者の方は、当日記者証等の身分証をご提示いただきますので、あらかじめご了承願います。

※上記の個人情報は、「農業生産工程管理（GAP）に関する講演会」の取材者の確認のみに利用し、それ以外のことには利用いたしません。

取ってよかったGAP認証！！～先行事例～

J A おおいた G A P 研究会（大分県）

JGAP

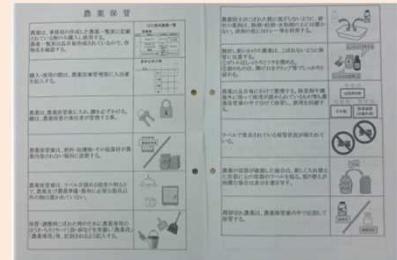
販路拡大を目指し、66人の生産者が集まって、3品目（かんきつ、みつば、いちご）で団体認証を取得！

＜特色＞

- 導入時には文書等を使用せず目的や必要性を説明し、合意形成実践段階で分かりやすいマニュアルを使用し、生産者の負担軽減
- 団体認証によって、一人当たりの取得費用が低減

＜効果＞

- 販路拡大につながり、収益が向上
- 農作業事故が減少



農家向け管理マニュアル

J A くるめサラダ菜部会（福岡県）

GLOBALG.A.P.

販路拡大を目指し、団体認証を取得！現在、輸出も検討中！

＜特色＞

- 13人の生産者が集まり、販路拡大やオリパラ東京大会を見据え、認証取得。輸出も検討中。
- ICTを活用した生産管理システムの導入
- 団体認証によって、一人当たりの取得費用が低減

＜効果＞

- 経営主及び雇用者の安全意識の向上にもつながる



GLOBALG. A. P. の審査

静岡県温室農業協同組合クラウンメロン支所（静岡県）

GLOBALG.A.P.

輸出の推進に向けて、若手生産者を中心に団体認証を取得！

＜特色＞

- 組合員のうち、まずは若手生産者を中心に、16名（全組合員の約1割）から取得。現在20名に拡大。

＜効果＞

- 新聞やテレビで何度も取り上げられ、イメージが向上
- タイ、マレーシアへ輸出し、高値で取引



組合員が農場内の点検を実施

（有）ユニオンファーム（茨城県）

JGAP

法人経営の改善に向けてGAP認証を取得！販路の拡大にもつながる。

＜特色＞

- 様々な取引先に販路を開拓
JGAPのほか有機JAS認証も取得

＜効果＞

- 納入先からの異物混入等のクレームが減少
- 従業員の責任意識が向上
- 従業員の時間外労働の縮減にもつながる



病害虫の被害を受けた野菜の特徴を写真で共有し、従業員に注意喚起

このパンフレットやGAPについてのお問い合わせ

農林水産省 生産局 農業環境対策課（GAP推進グループ）

H P はこちら ➡ <http://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/index.html>

電話番号 ➡ 03-6744-7188

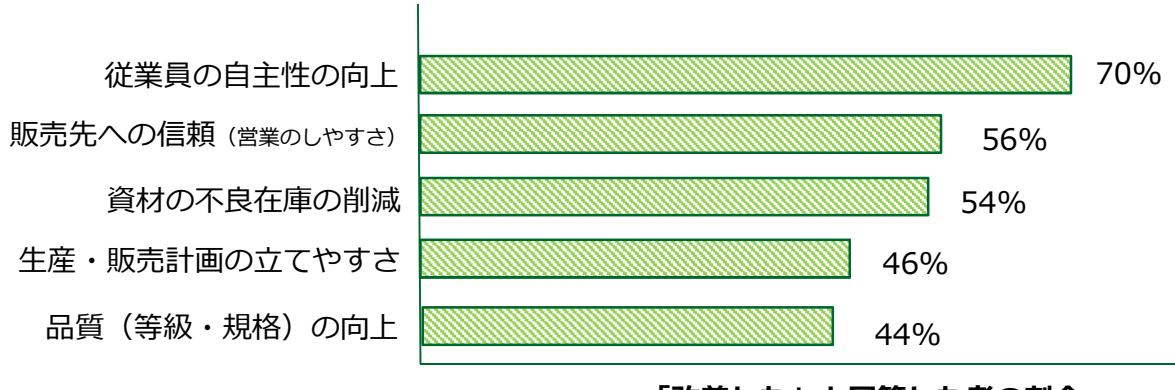
「GAP」でより良い農業生産を！

GAPとは、農産物（食品）の安全を確保し、よりよい農業生産を実現する取組！

- 農産物の生産で最も重要なことは、食品としての安全を確保することです。
- 生産者のみなさんは、**生産物の安全**を確保するための生産履歴の記帳を中心に、**環境の保全、労働の安全**を確保するための点検などを日頃より行っていることと思います。
- GAPとは、これらの取組状況を記録簿や掲示物によって確認・表示しながら、**農産物（食品）の安全を確保し、より良い農業生産を実現する取組**です。

GAPを実施すると、経営の改善に効果があります！！

GAP実施による経営改善効果



出典：「GAP導入による経営改善効果に関するアンケート調査結果」(H25.1 (独)農業・食品産業技術総合研究機構)を基に農林水産省生産局農業環境対策課で作成

＜コラム＞高校生もGAPに取り組んでいます！

青森県立五所川原農林高校では、これから農業にはGAPが必要だと考え、校内にGAPチームを結成。



放課後や土日に話し合いを重ね、わずか4ヶ月でGAP認証を取得。（写真）五所川原農林高校

日本では、約4,500の生産者のみなさんがGAP認証を取得しています！(H29.3現在)

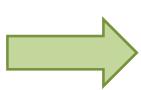
(1) GAPに取り組みましょう！！

まずは農業生産のレベルアップ！！

GAPをする

ステップ1： 基本の整理整頓から！

みなさんがこれまでにも取り組んできた整理整頓や、生産履歴の記帳が基本です。



写真提供：(一財)日本GAP協会

ステップ2： チェック項目に従って、農場内を点検！

いつもやっていることですが、問題点を見つけたら改善していきましょう。

食品安全

＜日頃の取組＞
異物混入の防止、
農薬の適正使用と保管



包装資材のそばに灯油など汚染の
原因となるものを置かない

ほかにも など
来訪者への衛生指示

環境保全

＜日頃の取組＞
適切な施肥、土壤浸食の防止、
廃棄物の適正処理・利用



農薬空容器などは分別して処分

ほかにも 水の使用量把握と節水対策 など

労働安全

＜日頃の取組＞
機械・設備の点検・整備、
作業安全用の保護具の着用



危険箇所の掲示をする

ほかにも 事故防止の作業手順書作成 など

人権保護

家族経営協定の締結、
技能実習生の作業条件遵守
など

農場経営管理

責任者の配置、教育訓練の実施、
内部点検の実施

その他

商品回収テストの実施、
資材仕入先の評価

など

GAPに取り組むときには、専門家の指導を受けることが効果的です。民間のコンサルタント会社もありますが、営農指導員や普及指導員の中でGAPの指導ができる方もいます。普及指導センターや農協にも相談してみましょう。

- ※ 普及指導員や営農指導員から指導が受けられれば、**コンサルタント費用が削減**できます。
- ※ 農協等では、営農指導員などが指導者研修を受講し、推進体制を整備することが有効です。

(2) GAP認証を取りましょう！！

認証が必要になったら次のステップへ！！

GAP認証をとる

- ・取引先からの要求に応じたい
- ・東京オリンピック・パラリンピックに出したい
- ・輸出したい

認証を
取りましょう！！

ステップ3：準備完了、いざ審査！

- ・審査会社に申込み。(相談はお早めに)
- ・審査員に取組を評価してもらいます。→ 指摘があれば改善！



ステップ4：ついに認証取得！！

- ・引き続き、より良い農業生産に向けて改善していきましょう！
- ※ 認証取得までに標準で半年～1年程度かかります。
- ※ 認証の有効期間は通常1年間です。
- ※ 認証を取得する場合は一定の費用がかかります。



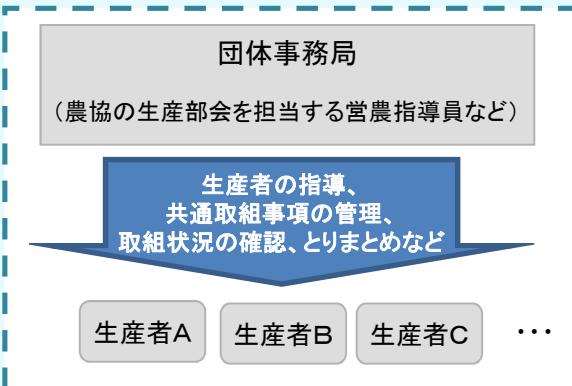
GAP認証の取得で販売先を拡大！！

取引先の要望をよく聞いて、必要な認証を取得しましょう。

	JGAP	GLOBALG.A.P.
オリンピック・パラリンピックの調達基準での要請	○	○
国内販売先の取得要請 (一部の大手スーパーなど)	△	△ (一部の大手スーパーなど)
海外マーケットの現状 (台湾、香港、東南アジアで普及推進中)	△	△ (特にヨーロッパで普及)

団体認証に取組むことで個々の生産者の負担を軽減！！

複数の生産者が集まってグループを構成し、認証取得を目指しましょう！



＜団体認証の効果＞

- 個別認証で求められる取組の一部が団体の取組として共通化され、個々の生産者の皆さんの負担が軽減されます！
- グループが大きくなるほど、個々の生産者の皆さんの費用負担は軽減します！

※審査費用（例）

個人	団体 (50名の場合：1名あたり)
10万円～55万円程度	2万円～11万円程度